

LUCKY

北雄ラッキー株式会社

平成19年2月期 中間決算説明資料



平成18年11月20日

JASDAQ 証券コード:2747

ホームページ <http://www.hokuyu-lucky.co.jp>

北雄ラッキーは、日本一質の高い スーパーマーケットをめざします。

- 1 おいしさと豊かさ
- 2 感動を与えるサービス
- 3 仕事に対する向上心



当社 代表取締役社長
桐生 泰夫

北雄ラッキーは、札幌圏及び道東圏を中心に北海道に根ざしたスーパーマーケットとして、長年地域のお客様と共に歩み続けております。小売業が価格競争激化の一途をたどる今、価格だけではなく品質や品揃えの面でもアピールできる店舗をめざしています。そこで当社では、企業理念を

**「日本一質の高いスーパー
マーケットをめざします。」**

というスローガンに決めました。これからも品質と品揃えにこだわりを持ち、毎日の食卓をより美味しく、より豊かに、そしてより健康であるよう追求してまいります。

会社概要

設立：昭和46年4月
本社：札幌市中央区北11条西19丁目36-35
資本金：6.41億円
従業員数：社員548人(連結)

パートタイマー1,719人(月平均)

営業店舗：30店舗(平成18年10月末現在)

センター：デリカセンター(小樽市)

物流センター(石狩市)

生鮮センター(札幌市)

低温センター(札幌市)

子会社：エル食品(株)(札幌市)
(株)アップル(札幌市)

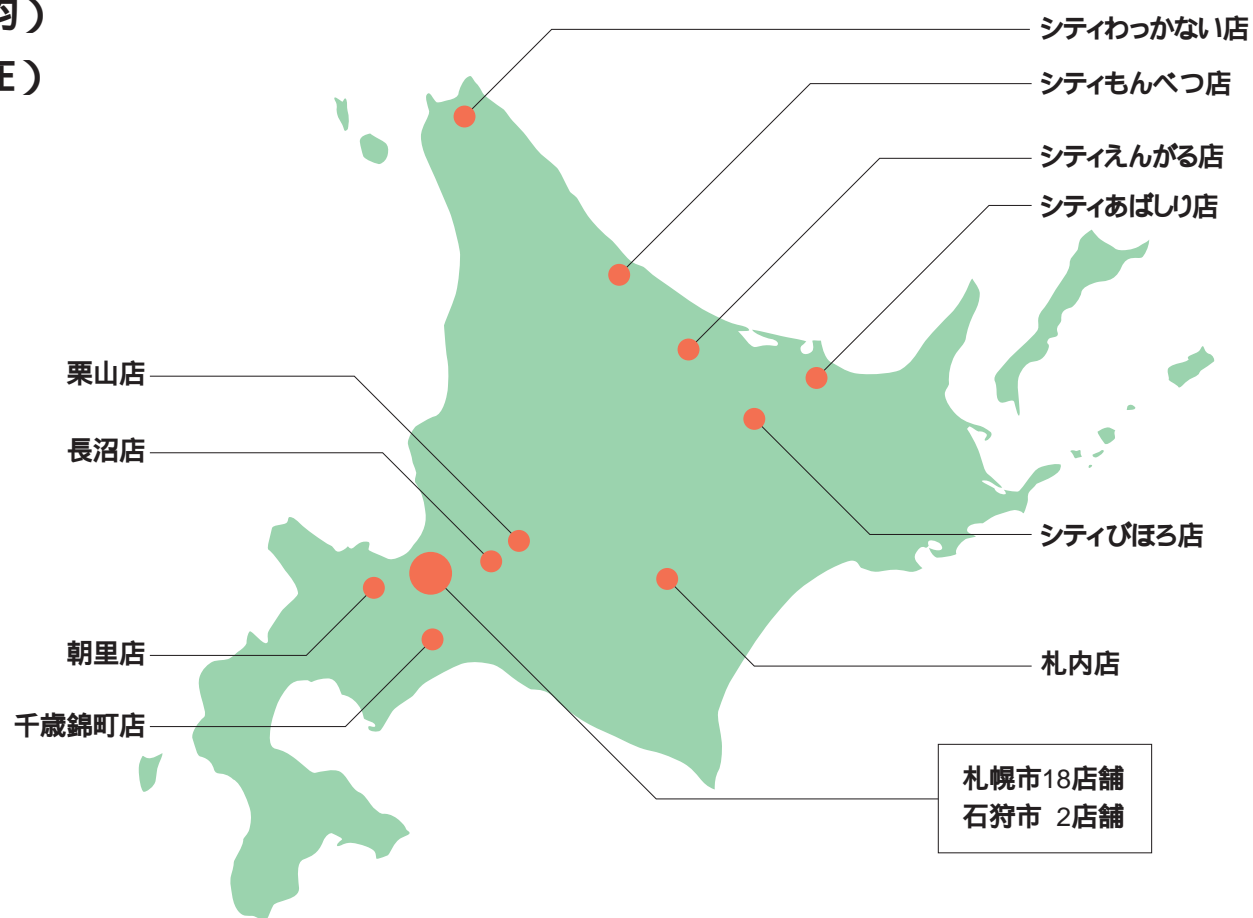
店舗網(平成18年10月末現在)

営業店合計：30店

食料品・衣料品共同店：22店

食料品単独店：3店

衣料品単独店：5店



- 昭和46年 4月 札幌市において食品小売業を目的とし、資本金600万円にて(株)オレンジチェーンを設立。
(現 北雄ラッキー株式会社)
- 49年 5月 商号を(株)山の手ストアに変更し、本格的にスーパーマーケットのチェーン展開を開始する。
- 57年 5月 (株)まるせんと合併し、同時に商号を北雄ラッキー(株)へ変更する。
- 平成 2年 3月 POS(販売時点情報管理)システムの導入を開始する。
- 4年 2月 酒類販売を開始する。
- 5年 9月 (株)シティびほろと合併し、シティ美幌店を開店し道東地区への進出を開始する。
- 6年 11月 子会社エル食品(株)を設立し、食品加工卸売業を開始する。
- 7年 2月 子会社(株)アップルを設立し、保険代理業を開始する。
- 8年 3月 インストアベーカリーを手がけ、以後各店へ導入する。
- 9年 3月 山の手店を大幅改装し、新たなプロトタイプ店舗に着手する。
- 12年 3月 商品検査室を設置し、食品の安全性検査を独自に開始する。
- 13年 3月 札幌市北区に新琴似四番通店を開店する。
- 14年 4月 札幌市手稲区に星置駅前店を開店する。
- 14年 10月 日本証券業協会に株式を店頭登録する。(現ジャスダック証券取引所)
- 15年 4月 夕張市長沼町に長沼店を開店する。
- 15年 9月 札幌市西区に発寒店を開店する。
- 16年 6月 紋別市にシティもんべつ店を開店する。道東地区4店目となる。
- 17年 10月 稚内市にシティわっかない店を開店する。道北地区へ進出する。

事業所一覧(平成18年10月末日現在)

【衣料・食品取扱店】

北 4 9 条 店	札幌市東区北49条東7-2-15	011-731-3451
清 田 店	札幌市清田区清田2条2-16-7	011-882-0351
篠 路 店	札幌市北区篠路3条4-1	011-772-7111
あ け ぼ の 店	札幌市手稲区曙2条2-4-25	011-682-1243
菊 水 元 町 店	札幌市白石区菊水元町3条2-2-8	011-872-5411
西 岡 店	札幌市豊平区西岡3条11-3-6	011-533-6031
北 野 店	札幌市清田区北野7条5-12-20	011-683-0101
朝 里 店	北海道小樽市新光2丁目	0134-52-2061
川 沿 店	札幌市南区川沿12条2-1	011-572-1601
花 川 南 店	北海道石狩市花川南9条4-83	0133-74-2611
シティびほろ店	北海道網走郡美幌町青山北53-3	01527-2-3111
千 歳 錦 町 店	北海道千歳市錦町4-25	0123-27-7676
シティえんがる店	北海道紋別郡遠軽町2条通北1-4-24	01584-2-1771
美 し が 丘 店	札幌市清田区美しが丘3条4-389-55	011-894-1177
栗 山 店	北海道夕張郡栗山町松風3-115	01237-2-5311
シティあばしり店	北海道網走市駒場北6-5-1	0152-61-3077
新琴似四番通店	札幌市北区新琴似8条10-1-22	011-769-7777
星 置 駅 前 店	札幌市手稲区星置1条2-1-1	011-688-1777
長 沼 店	北海道夕張郡長沼町西1線北3番地	01238-2-5577
発 寒 店	札幌市西区発寒8条13-1-20	011-668-3077
シティもんべつ店	北海道紋別市渚滑町1-2-1	01582-6-2773
シティわかかない店	北海道稚内市新光町1483-76	0162-34-8255

【食品取扱店】

山 の 手 店	札幌市西区山の手1条7-1-29	011-631-6336
西 野 1 号 店	札幌市西区西野6条3-1-5	011-661-4325
西 野 2 号 店	札幌市西区西野8条8-2-46	011-664-1711
花 川 店	北海道石狩市花川南1条2-273	0133-74-1212

【衣料取扱店】

白石ターミナル店	札幌市白石区南郷通1丁目南10-7 サウスビル内	011-863-5122
北 2 4 条 店	札幌市北区北23条西3丁目	011-758-2911
北 3 0 条 店	札幌市東区北30条東8丁目1番2号	011-731-9855
大 麻 北 町 店	北海道江別市大麻北町519番地 ホクレンショップ大麻北町店内	011-388-1157
札 内 店	北海道中川郡幕別町札内共栄町163番86号	0155-28-6877

【本社】

札幌市中央区北11条西19-36-35 011-643-3301

【デリカセンター】

北海道小樽市銭函3-193-1 0134-62-1717

【生鮮センター】

札幌市中央区北12条西19-36-168 011-623-0570

【低温センター】

札幌市中央区北12条西19-36-168 011-643-4511

【物流センター】

北海道石狩市新港西3丁目700 0133-75-8877

【関連会社】

エル食品(株)	札幌市中央区北11条西19-36-35	011-622-9446
(株)アップル	札幌市中央区北11条西19-36-35	011-643-5990

店舗タイプ

平成18年10月末現在	店舗数	店舗平均売場面積
コンビネーション型SSM店 (SM + 衣料)	22	2,259m ²
SM店	3	859m ²
衣料単独店	5	719m ²
計	30	1,862m ²

当社が主力とする業態は、生鮮食料品を中心としたSM(スーパーマーケット)450～500坪に衣料品150～300坪とテナントを組み合わせたコンビネーションタイプのSSM(スーパースーパーマーケット)としております。標準的店舗はワンフロアを原則とし、店舗面積の2.0～2.5倍の駐車場用地が確保されることを条件に出店しております。

出店エリアとしては札幌市内及び近郊、網走圏、道央の空知圏・上川圏をめざし出店しております。

当社の商品コンセプト

当社は、お客様の多様なニーズに対応するためきめ細かな品揃えを指向し、また常に新しい売場を提案するため商品開発の推進に力を注ぎ、価格と品質をバランス良く展開しております。

品揃えの特徴は、「高頻度アイテム(生活必需品)」と「付加価値アイテム(生活充実品)」を同時に展開すると共に、お客様の食卓に視線を合わせたカテゴリー分類した売場提案にあります。

当社の得意分野である惣菜売場の充実を柱とし、「より快適な売場づくり」「より選びやすい売場づくり」への取り組みを続けてまいります。



アイテムが充実したトマトバザール売場



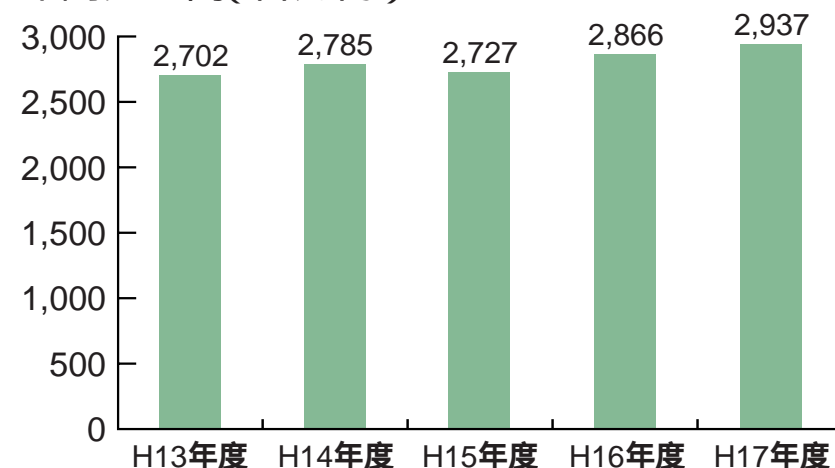
価格訴求のEDLP(エブリデーラッキープライス)売場

惣菜の強化

当社は、近年の有職主婦の増加、若い世代での単身者の増加、高齢者世帯の増加などに伴い、できあい商品の需要増が確実になることを予測し、売場スペースの拡大や商品開発に取り組むと共に、調理済みあるいは半調理済といった商品の取り扱いを毎年拡大しており、素材中心であった販売方法を大きく見直しております。

最近5年間での売上高の推移はグラフの通りであり、惣菜の強化を図っております。

年間売上高(百万円)



充実した揚げ物コーナー



お惣菜の豊富な品揃え

時代が求めるコンセプト「ナチュラルラッキー」の展開

今や時代のニーズともいえる「健康維持」。「食」を通して病気予防をはかりヘルシーな毎日を過ごしたいというご要望におこたえするため、当社は昨年「有機(オーガニック)農産物」「特別栽培農産物」「無添加食品」「有機原材料使用加工品」「特定保健用食品」等のカテゴリーを本格的に展開する「ナチュラルラッキー」というコンセプトを導入しました。1年を経過して取り扱い品目も順調に拡大しております。メインの農産物は北海道の農家との提携タイアップも確立し、「ラッキーの地産地消」として本年度は幅広くアピールしております。さらには冬場の対策も視野に入れ、年間ベースで「有機野菜」「こだわり農産物」を確保するための全国流通のパイプも確実に太さを増し、安定供給への道を着々と切り拓いております。



ナチュラルラッキー イメージポスター



地産地消の近郊野菜をアピール

「ナチュラルラッキー」2年目の展開と「テイステイラッキー」

LUCKY 北雄ラッキー株式会社

今年度からはさらにお客様の視点でラッキーの品揃えに直接ご意見をいただくという趣旨で、当社の社員とお客様を代表するモニター様と共同でプロジェクトチームを結成いたしました。「ナチュラルラッキー」の品揃えの見直しや新たな商品開発を促進するにあたって、お客様の視点、あるいは主婦の視点でコンセプトを点検しながら「ナチュラルラッキー」をより大きく発展させる活動を開始しております。

お客様の年代の中で、いわゆる「アクティブシニア」(50歳～80歳)の占める割合が増えております。このお客様の「おいしいものを少しずつ」というニーズに応えようとするコンセプトが「テイステイラッキー」。今年度より新たに取組みをはじめました。「ナチュラルラッキー」と並んで「テイステイラッキー」も今後着実に品揃えとして育て、定着させていこうと考えております。



有機野菜の展開



安心とおいしさを
兼ね備える「三元豚」
とん

平成19年2月期 中間決算(連結)

科 目	平成19年 2月期 中間	平成18年 2月期 中間	前期比 (%)
売上高(千円)	23,877,404	23,993,869	99.5
経常利益(千円)	130,316	77,157	168.9
中間純利益(千円)	189,554	46,109	-
純資産額(千円)	4,050,729	4,210,633	96.2
総資産額(千円)	21,276,950	21,815,695	97.5
1株当たり中間純利益(円)	28.52	6.93	-
自己資本比率(%)	19.0	19.3	-
株価収益率(%)	-	88.16	-
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	728,355	665,354	-
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	559,301	296,111	-
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	795,588	212,318	-
現金及び現金同等物	2,395,641	3,287,674	72.9

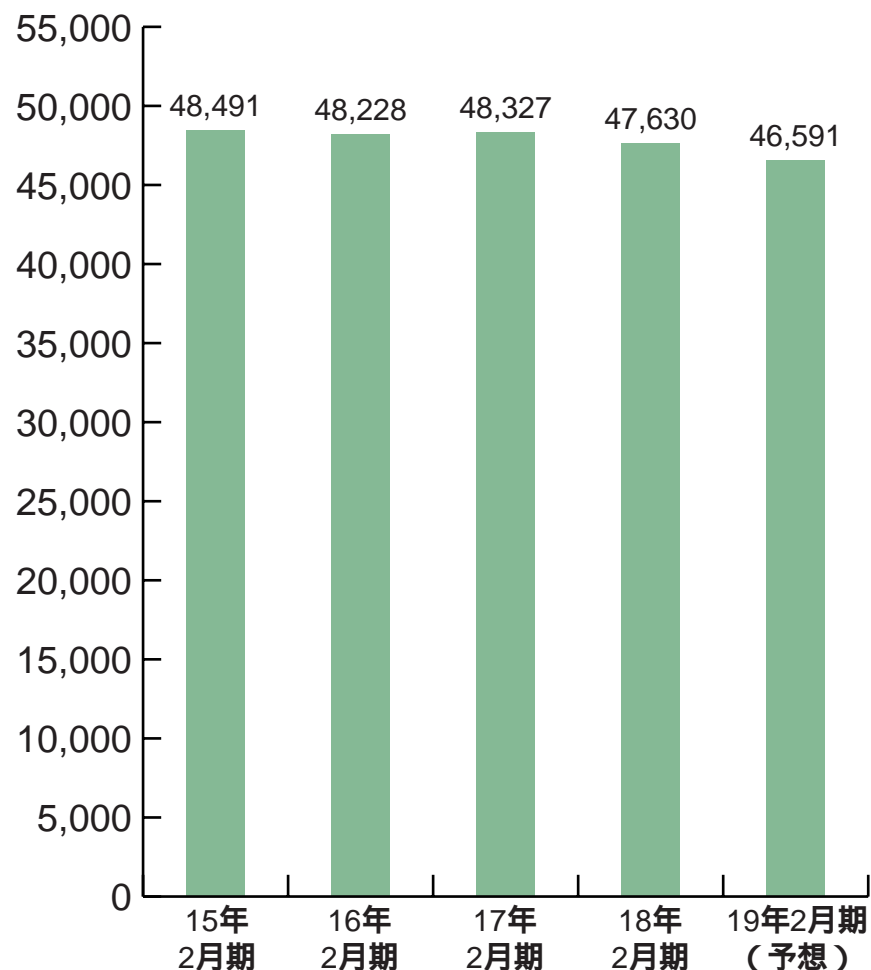
当中間期に於きましては、全国的な景気判断とは対照的に、北海道内の個人消費は回復感に乏しく、依然として厳しい状況のまま推移いたしました。スーパーマーケット業界は出店や統合が活発に進む一方で、異業種との競合も顕著となり、競争の拡大が急激に進み、競合各社の価格・サービス競争が一段と激しくなりました。

こうした状況の中で、当社グループでは積極的な販売促進策を実施してまいりましたが、売上高は前中間連結会計期間比99.5%とわずかながら減少しました。

荒利益率につきましては、当初計画を幾分下回ったもののほぼ前期並みであったこと、また一般管理費では経費の削減に努めた結果、当初計画及び前期を下回ったことなどにより、経常利益は130百万円(前中間連結会計期間比 168.9%)、中間純利益につきましては、減損会計適用に伴い、減損損失 422百万円を計上したため、中間純損失 189百万円(前中間連結会計期間は中間純利益 46百万円)となりました。

連結売上高の推移と予想(平成19年2月期)

連結売上高の推移と予想(百万円)



平成19年2月期通期の見通しにつきましては、北海道内での消費環境が改善されることは想定しにくいこと、また新たに当社グループにとり大型競合店が出店したことなど、競争激化・価格競争が続き、今後とも厳しい環境と判断されます。

当社グループは徹底した競合店対策に取り組むことはもち論、付加価値商品及び健康安全志向商品の販売強化も合わせて実施することとし、「価格」と「価値」の両面から売上高の確保に努めてまいります。

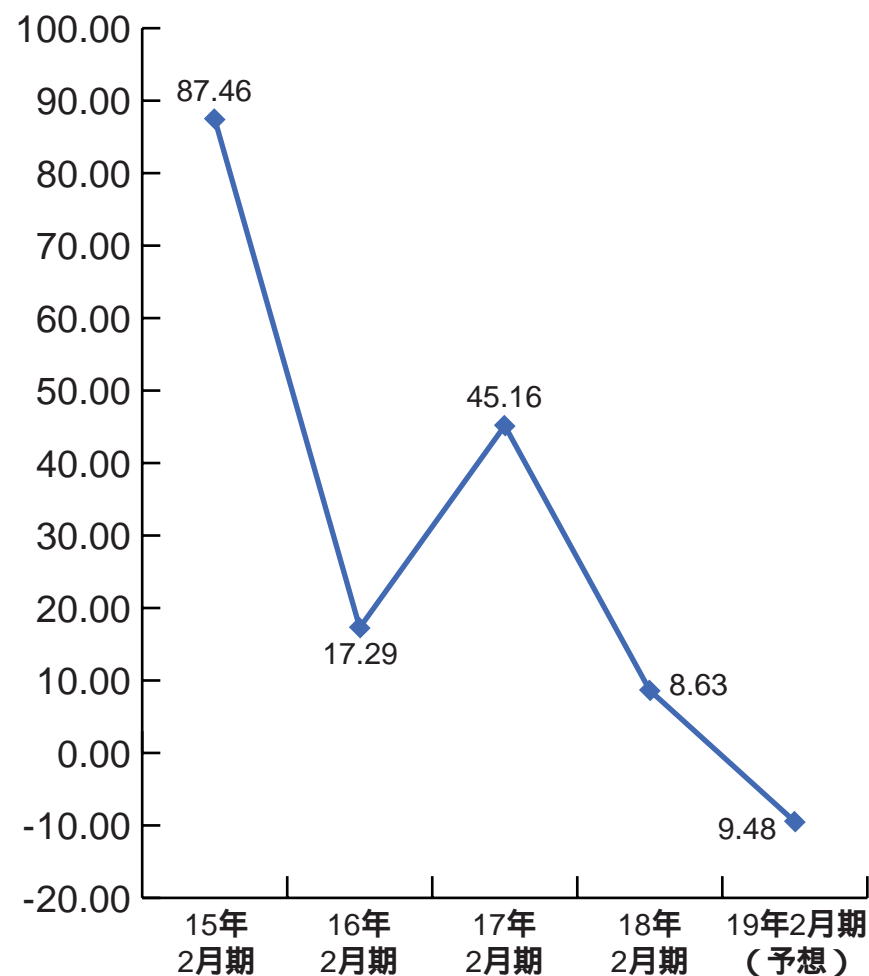
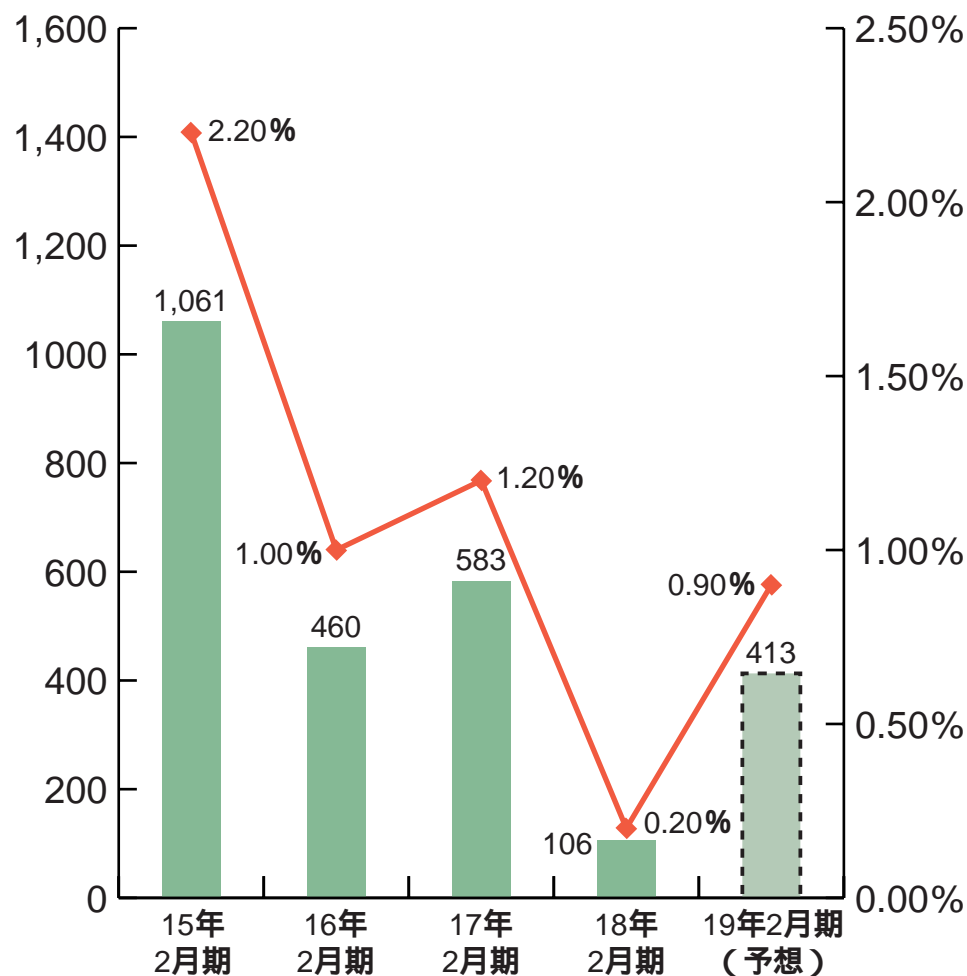
また、適正発注・適正在庫など極力無駄のない売場づくりと適正なオペレーション体制により、ロスの削減と発生の未然防止を図ることとし、仕入コストの更なる削減に取り組むことと合わせ、荒利益率の確保に努めてまいります。

通期の業績見通しにつきましては、売上高は46,591百万円(前連結会計年度比 97.8%)、経常利益は413百万円(前連結会計年度比 388.3%)、当期純損失 63百万円(前連結会計年度は当期純利益 57百万円)を見込んでおります。

連結経常利益・当期純利益の推移と予想(平成19年2月期) LUCKY 北雄ラッキー株式会社

■ 連結経常利益の推移と予想(単位:百万円)
 ◆ 売上高経常利益率

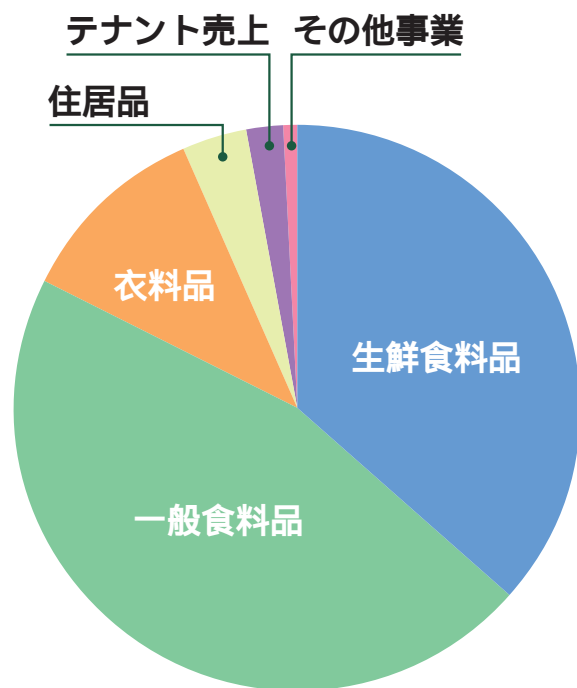
◆ 1株当たりの当期純利益の推移と予想(単位:円)



売上高部門別構成比(平成19年2月期中間連結)

LUCKY

北雄ラッキー株式会社



生鮮食料品	36.5%	「スーパーマーケット事業部門」
一般食料品	45.9%	
衣料品	11.0%	
住居品	3.7%	
テナント売上	2.1%	
その他事業	0.8%	「その他の事業部門」

売上高構成比につきましては、ここ数年間大きな変動はありません。
『その他事業』は、子会社であるエル食品(株)が運営する「ツタヤFC店」及び(株)アップルが運営する「損害保険代理業」としての売上高であります。

設備投資計画

当社は総資産に占める有利子負債の比率が高いため、今後財務体質の改善が必要であると考えており、当面の間、設備投資について自己資金の範囲内で行うこととし、新たな借入は極力行わないことを基本方針としております。設備投資につきましては、投資効果を十分に勘案し、新規出店と既存店の改装を並行して進めてまいります。

新店・改装店・その他設備の実績

	新規出店	改装店舗	その他
平成17年度実績	シティわっかない店(10月)	新琴似四番通店(4月)	-
平成18年度実績 (3月～8月迄)	-	遠軽店(3月) 網走店(4月) 美幌店(5月) 北野店(7月)	低温物流センター(3月)

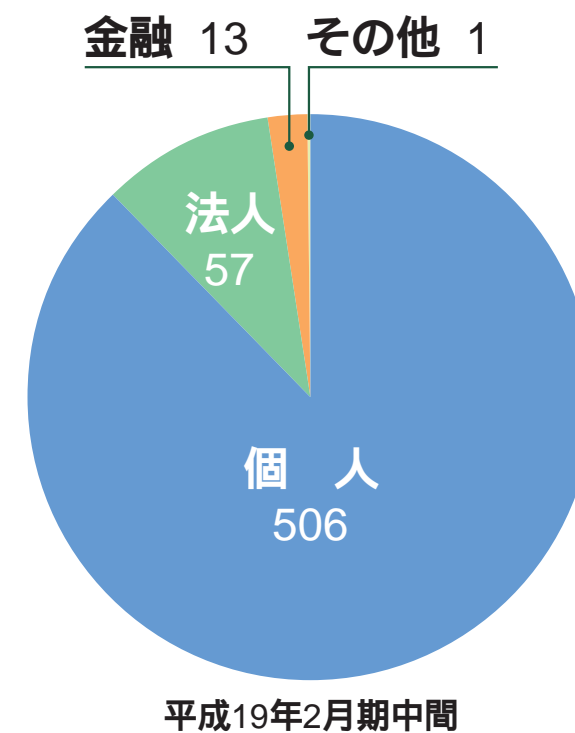
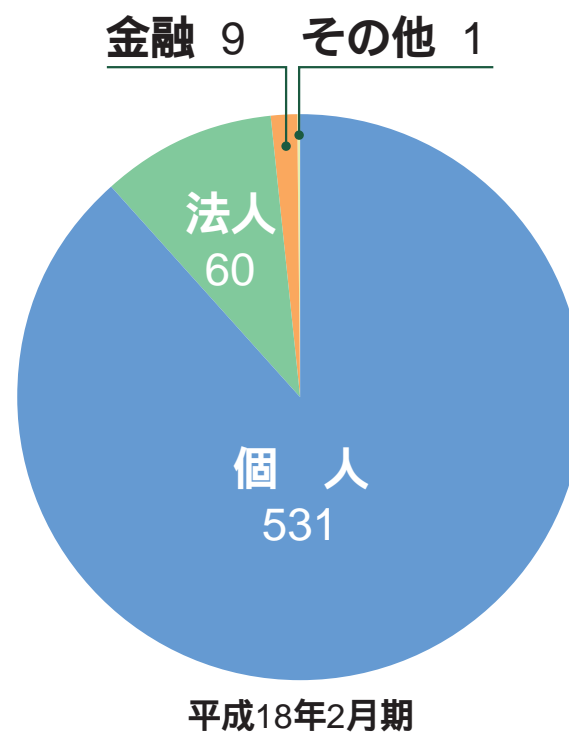
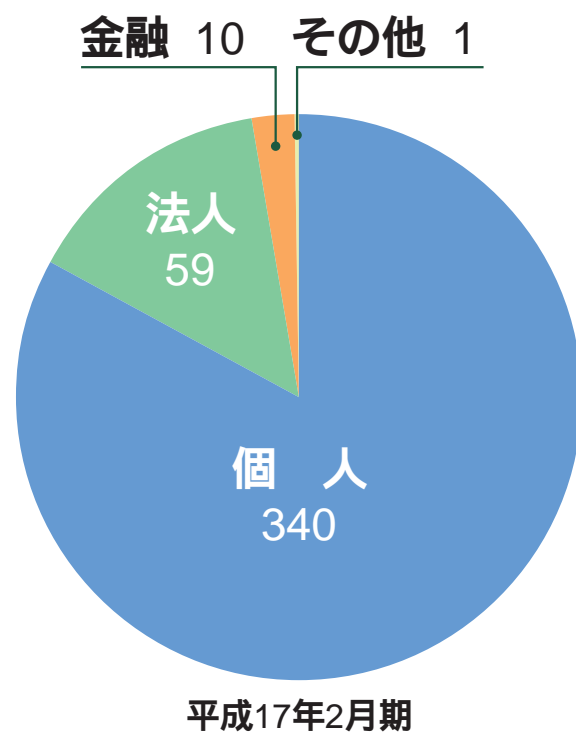
出店投資基準

出店は原則として土地建物については貸借によるものとしておりますが、地価の安い地方市町村の場合には自己所有も検討することとしております。

総合的な判断基準については、具体的な「売上高水準」「経常利益基準」「キャッシュフロー基準」を設定し、それぞれの数値内に当てはまる案件について計画しております。

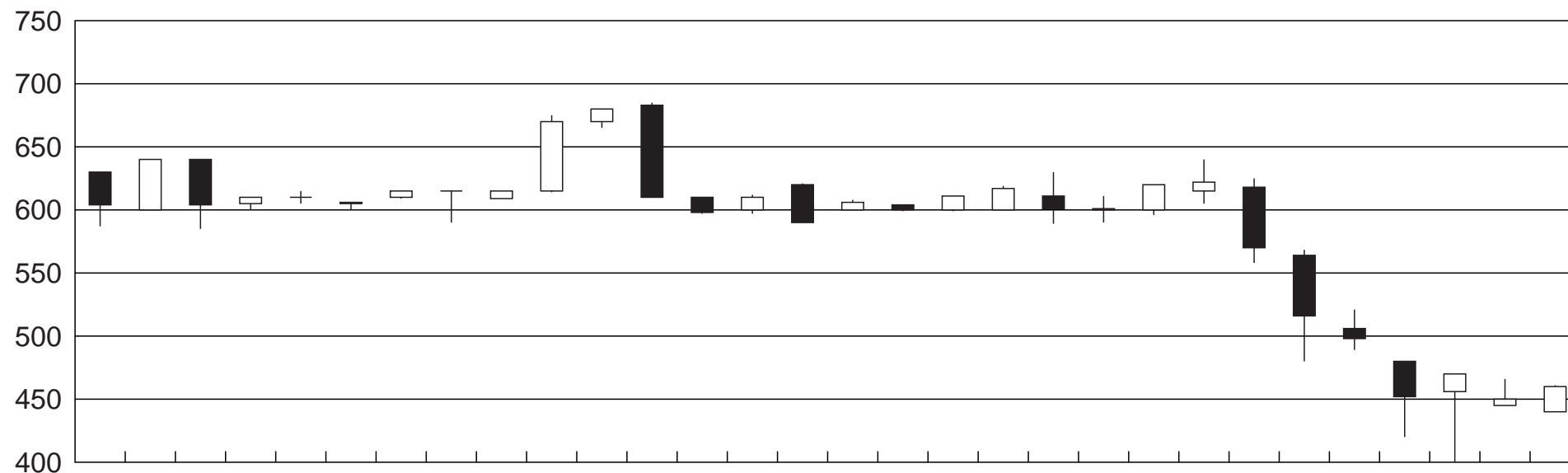
株主構成

平成17年2月末現在 410名(道内180名、道外230名)
平成18年2月末現在 601名(道内223名、道外378名)
平成18年8月末現在 577名(道内225名、道外352名)

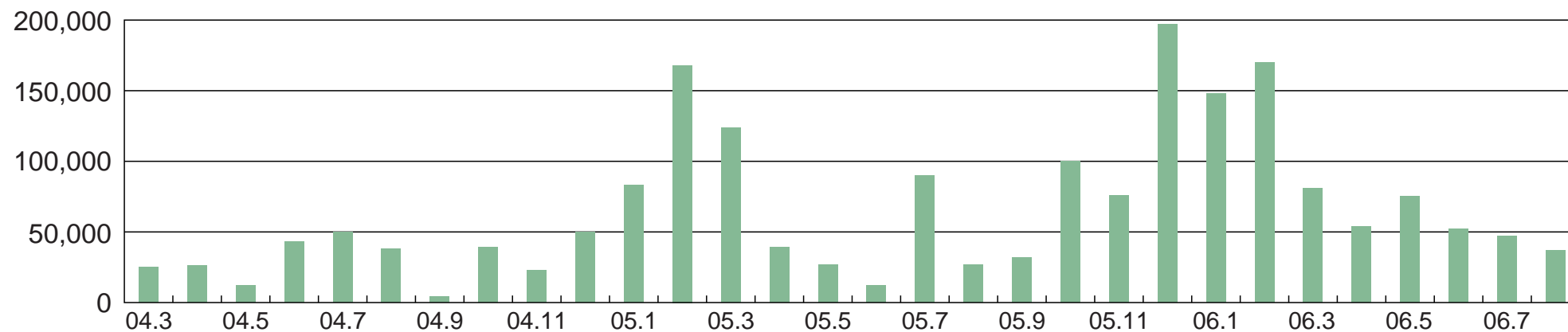


株価チャート

月次株価(円)



出来高(株)



1 配当基本方針と配当予定

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけており、安定した配当の継続を基本方針としております。

平成17年2月期実績	15円(配当性向	37.9%)
平成18年2月期実績	5円(配当性向	96.1%)
平成19年2月期予定	10円	



2 株主優待制度

毎年2月末日現在の1,000株以上を保有する株主に対し、5,000円相当の「北海道特産品」または「ギフトカード」を5,000円分贈呈しております。

平成17年2月期実績	「夕張メロン2L サイズ2玉入」もしくは5,000円分の当社「商品券」
平成18年2月期実績	「アサヒメロン2Lサイズ2玉入」もしくは「UFJニコスギフトカード」5,000円分
平成19年2月期(予定)	「北海道産メロン2Lサイズ2玉入」もしくは「UFJニコスギフトカード」5,000円分